

## 第 35 回中国文化セミナー開催報告

3月9日（木）、「第35回中国文化セミナー」を開催しました。「中国文化セミナー」は、日頃中国ビジネスに取り組まれている皆様に、普段とは少し違った視点から中国を理解いただくことが出来るよう、中国の文化・伝統・習慣や生活などについて紹介をし、体験をいただく機会を提案しています。

今年は、国際風水科学協会認定の風水鑑定士である、福岡和昭先生に「平成29年運氣招聘風水講座」と題して講演をいただきました。



風水とは元来中国において、環境と人間との調和を図るために生まれた統計学で、現在では日本のTVやマスコミでも多く取り上げられることから、日本でも一般的になっています。

### <第35回中国文化セミナー実施要領>

日時：2017年3月9日（木）

場所：フォーラムミカサエコ 7階ホール

講師：福岡和昭氏

参加人数：18社、33名

### <講師プロフィール>

- 中央大学商学部卒業。
- IT企業勤務などを経て、2005年に風水鑑定士のライセンスを取得。
- 「ビジネスで成功する秘訣」「運気の良いビジネスパートナーとは」「こうすれば売上アップするオフィスレイアウト」等講演。
- インターネット・ラジオALFAで毎月「風水談話」にパーソナリティとして出演。
- 「あなたを開運してくれるこの風水師2011年度版」三楽舎発行に選出掲載。
- 2011年12月「社会文化功労賞」授与を辞退。
- 多くの方々に幸せに導き、最短4ヶ月で結婚させた実績をも持つ。
- 風水鑑定に留まらず、毎月々パワースポットツアーも行っている。

### ～講義内容～

#### <風水の歴史>

風水は中国が発祥の地。生活環境を良くするために、土地や地形、山や川、風や雨などの自然を生かしてどの様な場所で生活をすれば最適かということ体系化していったのが風水の始まりで、今から約2000年ちょっと前、紀元前ギリギリ位の頃に発祥しました。

#### <風水について>

##### 1. 風水でよく言われることで正しいことは？

まずは問題。A：西に黄色い物を置くと運氣アップ／B：黄色い財布を持つと財運アップ／C：トイレを掃除するとお金の回りが良くなる。…正解はC。理由は、西に黄色い物を置く、財布は黄色というのは雰囲気ですが、トイレの掃除は実例です。

例えば、家の近所に洋服屋さんがあったとして、リーズナブルで良い商品を置いているけれどトイレが古くて汚い。2駅先に新しい洋服屋さんが出来ました。当然トイレは綺麗です。皆さんはどちらの店

に行きますか？大半の方が遠くてもトイレが綺麗なお店に行きます。これが結果です。会社の場合、打合せに出向いた先のトイレが汚かったら苦痛です。そうすると、その会社に行く頻度が減ってしまいます。店舗、会社だけではなく自宅も同様で、ホームパーティーに招かれた家のトイレが汚かったら、次回からは誘っても皆さんが来てくれる度合いが減ってしまいます。そうすると、人が遠ざかる家となり、その家自体が繁栄しない。つまり、トイレを掃除しないとお金の回りや人脈が途絶えていく状況になっていくということです。

## 2. 風水とは占いの一種では無く統計学である

先の例から分かるように、風水とは人が生きていくために心地良い状況を作るための統計学なのです。

## 3. 住居・仕事場の環境で、生活と仕事の成功が決まる

少しでも長くいる場所が、その人の人格までも形成してしまうということも言えます。



### <徳川家康に学ぶ>

江戸幕府は、15代将軍まで続いた日本の歴史の中で最大の政権でした。徳川家康が征夷大将軍につくまでは戦国時代で、数年で政権が変わっていました。ところが、家康が日本を治めてからは265年もの長きにわたって政権を確保したのは何故なのか？理由があります。

それまで、天皇は京都御所に、幕府は大阪、京都、安土など西側にありました。しかし、家康は東に幕府を置きました。それは、今日のテーマである風水が非常に大

きな意味を占めています。

江戸城は風と水が集結する場所になっています。東京都内には大きな坂が88ありますが、それらの坂は全て皇居に向かっていきます。坂によって風も江戸城に集まっている。水は川のことで、皇居に荒川、隅田川、多摩川の支流が入って行っている。家康は、自分の拠点を風水師に聞いて、風と水が集まる場所に決めたとされています。

### <家相と風水の違い>

家相は家の方位だけを見て、どこが良いかを決めています。大きな特徴として2つあります。

- ① 玄関方位は東から東南方位が良い。
- ② 水廻りは常に北方位と定説。

一方、風水は外の状況と住む方々の気場と家の気場、この3つから家の状況を見ていきます。

その後、「風水での建築の適合・不適合」、「住まいや部屋による影響」、「風水鑑定で対応出来ること」「昨年と今年の年回り」、「風水暦」等々多方面にわたる話をいただきました。福岡先生にはセミナー終了後の懇親会にも参加いただき、個別の相談にも答えたいと各テーブルを回っていただきました。

今年は風の年。しかし、その風は「against」。当たり前のことをやっているとお蹴散らされてしまうというのが今年の大きな特徴で、新しいプロジェクトに取り組む、新しい趣味を持つ、新しい友達を作るなどということが大事のようです。前向きに新たな取り組みを始めてみるのがよいかもしれません。

中国文化セミナーの内容は、会報誌「日中建協NEWS」No.227号（2017年5・6月号）に詳しく記載していますのでご覧ください。